

別記様式第1号 (要綱第7条関係)

令和4年8月19日

栗東市長 野村昌弘 様

主たる事務所の所在地 栗東市下戸山
団体名 栗東演劇祭実行委員会
代表者氏名 委員長 前山茂治

未来へつなぐ市民活動応援事業団体登録申請書

支援希望団体として登録を受けたいので、栗東市未来へつなぐ市民活動応援事業補助金交付要綱第3条第1項の規定により、関係書類を添えて申請します。

団体名 (ふりがな)	栗東演劇祭実行委員会		
主たる事務所	所在地 〒520-3015 滋賀県栗東市下戸山1220		
担当者連絡先	氏名 (ふりがな) まつざき まさあき 事務局 松崎 正明		
	電話番号	FAX 番号	
	E-Mail	連絡希望手段・時間帯	
ホームページ	http://bunka-mm.wixsite.com/engekisai-ritto		
団体設立年月日	平成5年4月1日	会員数	12名
活動目的	地域における舞台芸術活動の支援と演劇振興の推進、及び栗東演劇祭を円滑かつ効果的に実施することを目的として栗東演劇祭実行委員会を設置する。 (1) 演劇祭の開催及び、地域の演劇振興に必要な計画及び、管理・運営に関すること。 (2) 開催に関して、運営・企画部会を置くことができる。 (3) その他演劇祭開催に関係する必要な事項に関すること。		
事業概要	地域の舞台芸術活動支援と演劇振興を目的として、25回以上の栗東演劇祭を実施。表現者や劇団(グループ)が、日頃の成果を披露できる機会を提供します。また、「演劇がつなぐ人とひと」のテーマのもと、毎年栗東市はもとより県内外の6~8団体が出演します。多くの劇団や団体に関わりを持つことで有機的につながれる環境をつくり、相互刺激や交流が生まれ、豊かなコミュニケーションを育む契機とします。 そして文化芸術によるまちづくりに貢献する活動を継続的に行います。		
登録要件	■ 支援希望団体の登録要件(栗東市未来へつなぐ市民活動応援事業補助金交付要綱第6条)をすべて満たしている		
目標寄附額 (初年度)	250,000円 (初年度総事業費 630,000円)		

団体登録事業計画書

<p>活動場所</p>	<p>栗東市内、栗東芸術文化会館さきら、市内コミュニティセンターなど</p>
<p>解決したい地域の現状や課題</p>	<p>・舞台芸術活動に対する意識 栗東市は中心に栗東芸術文化会館さきらがあり、ハード面では舞台芸術に触れやすい環境にある。しかしソフト面では、未だ舞台芸術に対する関心は薄く、活動する人も少ない。イベントを行う事で、さらなる演劇振興の推進をおこない、市民に興味をもってもらい参画を促す。</p> <p>・ホールを使った舞台芸術活動の現状 ホールを使った舞台芸術活動は、集客の問題、金銭的な問題などから難しい環境にある。また、技術、知識も必要であり、それらを身につける環境も必要である。イベントを行う事で、ホールでの演劇に触れる機会、知識や技術を得る機会を作る</p> <p>・閉鎖的になりがちな舞台芸術活動 舞台芸術は、関わる世代や環境、行うジャンルなど多様性があり、えてして小さなコミュニティになり、閉鎖的になりがちである。イベントを行う事で、演劇を身近に感じてもらい、それらを越えてコミュニティを広げる。</p>
<p>今後の事業予定</p> <p>（市ホームページに掲載する文章として記入ください《600文字以内》） ※複数の事業を行う場合は、優先順位の高い順に記載してください。</p>	<p><主旨> ～演劇がつなぐ人とひと～をテーマに、演劇文化を誰もが楽しみ、気軽に参加でき、より身近なものとして感じてもらうことを目指します。また、文化と歴史のまち栗東を、演劇を通じて発信し、その認知を少しずつであっても高め、広げていきます。そのことが微力ながらもまちの活性化に繋がり、郷土愛を育み、そこに住む人々の心の糧となるよう事業を実施します。<u>演劇を通じたコミュニティの形成は、普段の活動はもとより、災害時等でも育んだ人のつながりが強いまちづくりにつながると考えます。</u>併せてコロナ対策にもしっかり取り組みます。</p> <p>1) りっとう演劇祭 2024 Vol.30、りっとう演劇祭 2025 Vol.31、りっとう演劇祭 2026 Vol.32 の開催（予定）</p> <p>2024 年は 3 月頃から出演団体を募集。5 回～6 回の実行委員会を経て本番を迎えます。場所日程は以下</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日程：2024年7月頃(Vol.30) 2025年7月頃(vol.31) 2026年7月頃(vol.32) ・ 場所：栗東芸術文化会館さくら 中ホール ・ 出演：7～8団体を予定 <p>2) SNS等により、活動の発信。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上記演劇祭の活動を、ホームページ、SNS等にて発信します。 <p>3) 市内活動（まつり、イベント）への積極的な協力。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内情報を注視しながら参加。関わりを広げる活動をします。 <p>4) 老人クラブ、ホーム等からの依頼に対応し、出前公演の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市内保育園、施設等よりの依頼要望に積極的に対応します。
期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホールを使用した演劇をできる環境の創造 <p>イベントを行う事で、参加団体は、本番にむけて準備を行う中で、ホールでの技術や知識、運営するための経験が身につく。また、出演者はホールを使った公演をする経験、鑑賞する経験ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演劇振興の推進 <p>市民に広く告知し、継続的に行なっていくことで、地域に演劇文化を根付かせ、市民に興味をもってもらい、参画を促す。過去のイベントでは、幼稚園や高校生なども参加し、若年層の演劇振興も行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 演劇を用いたコミュニティの創造 <p>上記のように市内で活動を継続的に行う事で、演劇を身近に感じてもらう。すぐ身近で、イベントがある事で、より参加、鑑賞しやすい演劇祭となり、新たに舞台芸術に触れる人を増やす。過去には「飛び出す演劇祭」と題し、地域コミュニティセンターでの活動も行い、より身近なイベントも行った。</p> <p>多様な団体が関わり、共にイベントを運営する事で、新たな交流が生まれ、世代や環境を越えたコミュニティが出来る。</p>

事業実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・委員長 前山茂治（山の動く会） ・副委員長 中島和彦（演劇集団 deerdeep） ・会計 奥村敏子（山の動く会） ・監事 井本利美（草の根劇場劇団かいつぶり） ・監事 肥田美桜和（劇団道草） ・広報 藤本隆志（てんこもり堂） ・事務局 松崎正明（高松企画） ・委員 各劇団代表 8名（予定）
事業のPR方法 （寄附の獲得）	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実 ・ホームページ、ツイッター、ブログ等 SNS を活用した発信 ・阪神域で開催されるフェス、イベントに参加し告知、周知に努める ・参加団体とのネットワーク、HP等へのリンク ・市や県の広報物への実施告知の要請
自立的・継続的に活動していくための工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外の企業、文化補助枠を活用するとともに、安定的な集客を確保する ・事務局など、発信力を高め他演劇祭との連携や相互協力体制の構築を目指す
申請事業に対する助成金や委託料等財源確保の取組み	<p>団体の自立に向け参加団体の充実を図るとともに、効果的な広報、PRにより集客を伸ばし、収入部を確保します。</p> <p>県内、文化庁等による補助制度を活用できるよう、情報収集に努めます。</p> <p>プログラムの広告収入や協賛を募り事業費獲得の基礎体力を付けます</p>

別記様式第3号（要綱第7条関係）

収支計画書（令和6年4月～令和7年3月）

【収 入】

科 目	内 訳	金 額
補助金	未来へつなぐ市民活動応援事業補助金	補助目標額 200,000 円
自己資金 (会費等)	参加費 30,000×6 団体	180,000 円
事業収入 (受益者負担金)	チケット収入 1,000×200	200,000 円
その他	広告協賛金 5,000×10 件	50,000 円
収入合計		630,000 円

【支 出】

科 目	内 容 ・ 積算根拠	経 費	
		対象外経費	対象経費
人件費		円	0 円
報償費	ゲスト出演謝礼 30,000、司会謝礼 30,000	円	60,000 円
旅費交通費	スタッフ宿泊費@5,800×1泊×2名	円	11,600 円
消耗品費	舞台消耗品（釘、ガムテープ類、用紙）	円	10,000 円
印刷製本費	チラシ、チケット、パンフレット印刷	円	35,000 円
食糧費及び食材費	スタッフ賄@500×20名×3日	円	30,000 円
光熱水費		円	0 円
通信運搬費	チラシ等発送、DM等@84×100	円	8,400 円
手数料	振込手数料（支払い等）	円	3,000 円
保険料	イベント保険（傷害保険）	円	12,000 円
委託料	舞台運営委託料（舞台監督、音響・照明費）	円	345,000 円
使用料及び賃借料	会場使用料、著作権等	円	55,000 円
材料費	小道具等制作材料費@10,000×6 団体	60,000 円	円
その他		円	0 円
	支出合計	60,000 円	570,000 円

※年度毎にわけて記入してください。

別記様式第3号（要綱第7条関係）

収支計画書（令和7年4月～令和8年3月）

【収 入】

科 目	内 訳	金 額
補助金	未来へつなぐ市民活動応援事業補助金	補助目標額 200,000 円
自己資金 (会費等)	参加費 30,000×6 団体	180,000 円
事業収入 (受益者負担金)	チケット収入 1,000×200	200,000 円
その他	広告協賛金 5,000×10 件	50,000 円
収入合計		630,000 円

【支 出】

科 目	内 容 ・ 積算根拠	経 費	
		対象外経費	対象経費
人件費		円	0 円
報償費	ゲスト出演謝礼 30,000、司会謝礼 30,000	円	60,000 円
旅費交通費	スタッフ宿泊費@5,800×1泊×2名	円	11,600 円
消耗品費	舞台消耗品（釘、ガムテープ類、用紙）	円	10,000 円
印刷製本費	チラシ、チケット、パンフレット印刷	円	35,000 円
食糧費及び食材費	スタッフ賄@500×20名×3日	円	30,000 円
光熱水費		円	0 円
通信運搬費	チラシ等発送、DM等@84×100	円	8,400 円
手数料	振込手数料（支払い等）	円	3,000 円
保険料	イベント保険（傷害保険）	円	12,000 円
委託料	舞台運営委託料（舞台監督、音響・照明費）	円	345,000 円
使用料及び賃借料	会場使用料、著作権等	円	55,000 円
材料費	小道具等制作材料費@10,000×6 団体	60,000 円	円
その他		円	0 円
	支出合計	60,000 円	570,000 円

※年度毎にわけて記入してください。

別記様式第3号（要綱第7条関係）

収支計画書（令和8年4月～令和9年3月）

【収 入】

科 目	内 訳	金 額
補助金	未来へつなぐ市民活動応援事業補助金	補助目標額 200,000 円
自己資金 (会費等)	参加費 30,000×6 団体	180,000 円
事業収入 (受益者負担金)	チケット収入 1,000×200	200,000 円
その他	広告協賛金 5,000×10 件	50,000 円
収入合計		630,000 円

【支 出】

科 目	内容・積算根拠	経 費	
		対象外経費	対象経費
人件費		円	0 円
観音費	ゲスト出演謝礼 30,000、司会謝礼 30,000	円	60,000 円
旅費交通費	スタッフ宿泊費@5,800×1泊×2名	円	11,600 円
消耗品費	舞台消耗品（釘、ガムテープ類、用紙）	円	10,000 円
印刷製本費	チラシ、チケット、パンフレット印刷	円	35,000 円
食糧費及び食材費	スタッフ賄@500×20名×3日	円	30,000 円
光熱水費		円	0 円
通信運搬費	チラシ等発送、DM等@84×100	円	8,400 円
手数料	振込手数料（支払い等）	円	3,000 円
保険料	イベント保険（傷害保険）	円	12,000 円
委託料	舞台運営委託料（舞台監督、音響・照明費）	円	345,000 円
使用料及び賃借料	会場使用料、著作権等	円	55,000 円
材料費	小道具等制作材料費@10,000×6 団体	60,000 円	円
その他		円	0 円
	支出合計	60,000 円	570,000 円

※年度毎にわけて記入してください。

栗東演劇祭実行委員会設置要綱

1 目的

りっとう演劇祭(以下「演劇祭」という。)を円滑かつ効果的に実施及び、地域における演劇振興推進するため、栗東演劇祭実行委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2 委員会の役割

- (1)演劇祭の開催に必要な計画に関すること。
- (2)演劇祭の管理・運営に関すること。
- (3)演劇祭の開催に関して、運営・広報部会を置くことができる。
- (4)その他演劇祭開催に関係する必要な事項に関すること。

3 組織及び役員

委員会は「演劇団体員」及び演劇団体員以外の協力者並びに後援団体の構成員等をもって組織し、次の役員を置く。

- (1)委員長
- (2)副委員長
- (3)運営部会長
- (4)広報部会長
- (5)会 計 1名
- (6)監 事 2名
- (7)顧 問 若干名

4 役員の選任

委員長は、委員会の互選による。
以下役員に付いては委員長の指名による。

5 役員の任務

役員の任務は、次のとおりとする。

- (1)委員長は、本会を代表し、会務を統括する。
- (2)副委員長は、委員長を補佐し、委員長事故あるときは、その職務を代行する。
- (3)運営部会長は、運営部会を構成し演劇祭の運営業務にあたる。
- (4)広報部会長は、広報部会を構成し演劇祭の広報業務にあたる。
- (5)会計は、委員会の会計業務を担当する。
- (6)監事は、会務を監査する。

6 会議

- (1) 会議は、委員会(全体会議)及び役員会並びに部会とし、委員長が必要と認めるとき召集する。
- (2) 会議の議長は、実行委員会(全体会議)及び役員会については委員長があたるものとし、部会については、その部会長があたるものとする。

7 事務局

演劇祭の実施に必要な事務を処理するため、本会に事務局を置く。

- (1) 事務局に次の職員を置く。

事務局長

事務局員 若干名

- (2) 該当職員は、前記3の役員に属するものとする。
- (3) 会議は、事務局会議とし、委員長が必要と認めるとき召集する。
- (4) 会議の議長は、事務局長がこれにあたるものとする。
- (5) 委員会の事務所は、当該委員長宅に置く。

8 経費

委員会に必要な経費は、演劇祭予算に計上し、これを支出する。

9 その他

この要綱に定めのない事項は、その都度、委員会で決める。

付則

この要綱は、平成6年2月1日から施行する。

付則

この要綱は、平成6年4月1日から施行する。

付則

この要綱は、平成13年4月1日から施行する。

付則

この要綱は、平成25年4月20日から施行する。

令和3年8月18日

栗東市長 野村昌弘 様

団体名 栗東演劇祭実行委員会
 代表者 委員長 前山 茂治
 住 所

事業実績報告書

本会は、後援名義使用の承認を受けた事業を終了しましたので、下記のとおりその実績を報告します。

記

事業等の名称	りっとう演劇祭 2021 ～演劇がつなぐ人とひと～		
主催者	栗東演劇祭実行委員会		
開催日時	令和3年7月18日(日) 14:00開演～18:30終演		
開催場所	栗東芸術文化会館さきら 中ホール *自由席		
参加者数	137名(一般119名、高校生以下7名、招待11)		
入場料等	一般/1,000円、子ども(小～高校生)/500円 *未就学児無料		
事業等の内容	成果 コロナの感染拡大のこともあり出演劇団は3団体にとどまった。しかし、跳躍のための伸縮と考え次回に繋げること、舞台芸術の楽しみを地域の方々や、劇団、県内の多くの観客と分かち合うことが出来た。 ○内 容 <出演3団体> ・山の動く会 ・てんこもり堂 ・草の根劇場 劇団「かいつぶり」 ○特別企画：ふるさと抽選会を実施(栗東名産、滋賀県特産の栗東バウムやへそくりパイなどをアピールしながらのお楽しみ恒例企画となった)		
後援団体	共催：栗東芸術文化会館さきら((株)ケイミックスパブリックサービス) 後援：栗東市、栗東市教育委員会、栗東市教育委員会、栗東市商工会 京都新聞、読売新聞大津支局、(株)エフエム滋賀、BBCびわ湖放送		
広報活動の方法と範囲	方法	公演チラシ5000部 公演プログラム900部	方法 栗東市内～滋賀県内

報告者連先	住 所 氏 名 事務局/松崎正明 連絡先
添付書類	・収支決算書 ・名義印刷物(チラシ、プログラム等)

収支決算書

収入

[単位:円]

項目	金額	説明
繰越金	84,213	2019年より繰り越し
入場料収入	60,000	チケット追加販売、当日販売等【60枚×1000円=60,000】
協賛金収入	55,000	【5,000×9口,10000×1口】
参加費収入	120,000	(40,000×3団体) ※山の動く会、てんこもり堂、かいつぶり
補助金	24,000	ふるさと納税(24000)
助成金		
雑収入	7,298	特別協賛金
計	350,511	

支出

[単位:円]

項目	金額	説明
会議費	0	会議お茶等
人件費	310,000	舞台監督・音響・照明人件費/2日=310,000
印刷製本費	14,020	チラシ作成、2000部【4020】パンフレット作成、900部【10000】
通信運搬費	2,000	郵便代、宅急便等
保険料	5,250	傷害保険
食料費	0	
消耗品費	10,000	チケット用紙、コピー用紙、インク代【5000】 個包装アルコール、400枚くらい(5000)
備品費	600	記録DVD(200×3団体分)
手数料	3,000	著作権料、振込み手数料
賃借料	0	
その他	641	
繰越赤字清算	0	
計	345,511	

収入-支出	5,000	
-------	-------	--

令和2年9月20日

栗東市長 様

団体名 栗東演劇祭実行委員会
 代表者 委員長 前田 隆夫
 住 所



事業実績報告書

本会は、下記のとおりその実績を報告します。

記

事業等の名称	りっとう演劇祭2019 ～演劇がつなぐ人と人～		
主催者	栗東演劇祭実行委員会		
開催日時	令和元年7月21日(日) 10:30開演～18:00終演		
開催場所	栗東芸術文化会館さきら 中ホール *自由席		
参加者数	363名(一般341名、高校生以下22名)		
入場料等	一般/1,000円、子ども(小～高校生)/500円 *未就学児無料		
事業等の内容	<p>成果 舞台芸術の楽しみを地域の方々や、劇団、県内の多くの観客と分かち合うことができた。今回も初参加の劇団があり、日本で最も参加しやすい演劇祭に近づくことが出来た。 また、さきら開館20周年を記念し、複数の団体から有志を募り、合同公演を行った。劇団を越えた交流をする事と共に、特別な公演を行うができた。</p> <p>○内 容 <出演6団体> ・大宝カナリヤ保育園、・劇団ここから屋、・演劇集団deer deep ・てんこもり堂、・山の動く会 ・合同公演 ・ゲスト/パーカーズ ・司会/北澤あさこ</p> <p>○特別企画：ふるさと抽選会を実施(栗東名産、滋賀県特産の栗東バウムやへそくりパイなどをアピールしながらのお楽しみ恒例企画)</p>		
後援団体	共催：栗東芸術文化会館さきら((株)ケイミックスパブリックサービス) 後援：栗東市、栗東市教育委員会、栗東市教育委員会、栗東市商工会 京都新聞、読売新聞大津支局、(株)エフエム滋賀、BBCびわ湖放送		
広報活動の方法と範囲	方法	公演チラシ5000部 公演プログラム900部	範囲 栗東市内～滋賀県内
報告者連先	住 所 氏 名 事務局/上田 真平 連絡先		
添付書類	・収支決算書		

収支決算書

○収入

[単位:円]

項目	金額	説明
繰越金	94,002	2018年よりの繰越金
チケット販売	76,000	当日売上金(一般¥1000×73枚,高校生以下¥500×6枚)
	44,500	大宝保育園(一般¥1000×41枚,高校生以下¥500×7枚)
	16,000	さくら販売(一般¥1000×14枚,高校生以下¥500×4枚)
	34,000	合同公演追加分(一般¥1000×34枚)
	15,500	deerdeep追加分(一般¥1000×14枚,高校生以下¥500×3枚)
	2,500	てんもり堂追加分(一般¥1,000×2,高校生以下¥500×1枚)
協賛金収入	90,000	75,000 公演プログラム広告料(¥5,000×15口)
	15,000	特別協賛15,000(荒張一座)
参加負担金	176,000	140,000 参加負担金(¥35,000×4団体)
	36,000	合同公演参加負担金¥36000(¥3,000×12名分)
補助金・助成金	0	
雑収入	10,000	
合計	558,502	

○支出

[単位:円]

項目	金額	説明
会議費	0	会議お茶等
人件費・謝金	380,000	舞台監督・音響・照明人件費/3日及びびバーカーズ=380,000
	5,000	MC謝礼 5,000
印刷製本費	10,249	チラシ(90k、5,000部)
	9,396	パンフレット作成(900部作製)
通信運搬費	900	郵便代、挟み込み宅急便代等
保険料	10,500	傷害保険
食料費	7,914	6,940 スタッフ陪い6,940(本番日のみ)
	974	ケイタリング974
消耗品費	17,135	1,850 チケット用紙
	2,676	コピー用紙+プリンターインク
	1,609	チョー板
	11,000	供花代
備品費	1,200	記録DVD
手数料	3,000	著作権料
賃借料	0	会議場所利用等
合同公演経費	29,000	稽古場代、小道具等
合計	474,294	

差額	84,208	※翌年へ繰り越し
----	--------	----------

Ritto Theater Festival vol.28

りっとう演劇祭2021



～演劇がつなぐ人と人～



りっとう演劇祭の使命は、舞台芸術の楽しみを 地域の方々や県内外多くの観客と分かち合うこと、
そして、誰もが演劇の担い手になれるよう表現する「場」を提供すること、
そして最も参加しやすい演劇祭を目指しています。

昨年度は中止となりましたが、未来へつなげるため本年は開催します!!

7/18 (日)

●出演団体 (出演順)

●日本舞踊

若太夫「万歳」 立方 金乃梨子

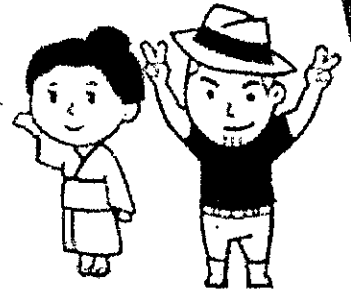
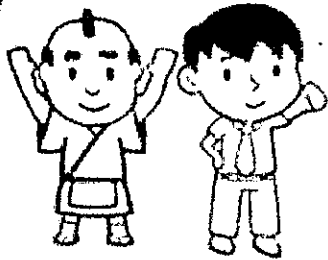
●草の根劇場 劇団「かいつぶり」

●てんこもり堂

feat.三遊亭はらしよう

●山の動く会

山形県山形市に在住する演劇愛好者の集まり



●ふるさと抽選会 終演後開始予定

景品は栗東、滋賀の特産品が多数!
観劇して良いもの当てよう!

●日程

2021年 7月 18日 (日)
14:00開演(13:30開場) ~ 18:30頃終演予定

●会場

栗東芸術文化会館さくら 中ホール
(JR 琵琶湖線 栗東駅 徒歩5分)
※有料駐車場ございます

●入場料

一般 1,000円
高校生以下500円
未就学児 無料
※全席自由席。
チケットはフリーパス、出入り自由。

関連事業

照明ワークショップ開催

りっとう演劇祭は、みんなの活動の
舞台に立つだけでなく、スタッフワークもみんなで協力して作られています。
平日の研修などスタッフワークに興味のある人、是非ご参加ください。

日時：2021年6月13日 (日) 11:00-18:00予定
会場：滋賀里劇場
講師：Jelly Beans 森田裕子・坂本幸子
(りっとう演劇祭の照明スタッフ)
参加費：2000円

詳細・申し込み方法等はりっとう演劇祭HPをご覧ください。
(5月中旬詳細アップ予定)
6、13の研修ワークショップ受講者は、会場の舞台
さくら 中ホール の仕組みに参加出来ます!
(7/17土/午前中予定)

各出演団体、栗東芸術文化会館さきらの窓口でご購入いただけます。

●お問い合わせ

栗東演劇祭実行委員会 (担当 松崎)
TEL 090-8533-9451 MAIL bunka-m.m@i.softbank.jp

体調不良(発熱・咳・咽頭痛・味覚障害などの症状)の方はご来場をご遠慮いただきます。
※感染症対策のため、マスクの着用、検温、手指の消毒、連絡先の記入等にご協力ください。
※今公演は上記理由により、差し入れ、楽屋見舞い、終演後の挨拶はしていただけません。ご了承くださ

Ritto Theater Festival vol.26

りっとう演劇祭2019

～演劇がつなぐ人と人～

7/21 (日)

りっとう演劇祭の使命は、舞台美術の楽しさを地域の方々や県内外多くの観客と分かち合うこと、そして、誰もが演劇の担い手になれるよう支援する「場」を提供すること、日本で最も参加しやすい演劇祭を目指しています。

出演団体(出演順)

大宝カナリヤ保育園&
治田西カナリヤ第三保育園の
子どもたち有志

パークーズ [ゲスト出演]

合同公演有志 (1回目)

～昼休憩～ (13:00頃)

劇団ここから屋

演劇集団 deer deep

てんこもり堂

山の動く会

合同公演有志 (2回目)



ふるさと抽選会

終演後(17:30頃)開始予定
景品は群馬、滋賀の特産品が多数!
観劇して良いもの当てよう!

公演詳細や演劇院過去映像をチェック!

Twitter @rittoengekisa
Instagram ritto.engekisa



●日時 2019年7月21日(日)

10:30開演(10:00開場)～18:00演終演予定/昼休憩あり

●場所 東京芸術文化会館さくら中ホール (JR 琵琶湖線 東京駅 徒歩5分)

※有料駐車場ございます

●入場料 一般 1,000円

高校生以下 500円

未就学児 無料

※全席自由席、チケットはフリーパス、出入り自由です

●チケット取り扱い 各出演団体、東京芸術文化会館さきらの窓口でご購入いただけます。

Twitterアプリをおすすめします

サイトをお見逃しなく、Twitterアプリで開くとすべての機能を利用できます。

今はしない

アプリに切り替え



ああ

twitter.com



栗東芸術文化会館さきら開館20周年記念事業
りっとう演劇祭2019 参加作品

りっとう演劇祭 合同記念公演

ドラえもん

～おばあちゃんとボクと、時々、オトン～

作・演出 天野 真理子(劇団NEW WAVE)

2019年

7月21日(日)

1回目(午前の部) 11:25頃 開演予定 (時間は当日の進行状況によって前後します)

2回目(午後の部) 16:30頃 開演予定 (時間は当日の進行状況によって前後します)

●演出より

さきら創立20年?!ということは私が滋賀に住み始めてから20年かぁ…この地に骨を埋めることになるうとは、手前事で申し訳ありませんが思わず感慨にふけてしまいます。

「このめでたき年に劇団の枠を越えてメモリアルな作品を暫く作り上げようではないか!」

「お!いいねいいね!」という声(お酒の力もかりて)上がり今回挑戦するに至りました。

至ったのはいいんですけどね、栗東演劇祭最強(最恐)の武器、「参加団体の数の強さ」…福古場は完全無法地帯です。それでも慣れてくるとその無法地帯ぶりさえも愛しく思えてきちゃうから不思議なものです。この舞台の本番よりも混沌とした福古場を観賞頂いた方がお客様喜ぶんじゃないやいや、大丈夫、本番の舞台も大丈夫、のはず!

さあ、この度、上は70代の大樹から下は10代の若葉まで、通常交じり得ない面々が挑むのは、泣く子も笑うあの名作「ドラ○もん」を愛する息子、孫のために舞台化しようと密闘するマダム&ムッシュ達の物語。

ドラ○もんの舞台は無事にラストを迎えることができるのか?

マダム&ムッシュ運ぶるの○太は、じゃ○あんは、ス○夫は、し○かちゃんは、そしてドラ○もんは息子に、孫にどんな栄色を魅せてくれるのか?

「温かい目でみまもってやろうじゃないか!」というあなた!是非客席へ!

メンバー一同御待ちしております。

CAST

中西 秀斗 (北大津高校演劇部)

平田 真紀子 (山の動く会)

STAFF

作・演出 天野 真理子(劇団NEW WAVE)

演出助手 山本 玲奈 (劇団NEW WAVE)

Twitterアプリをおすすめします

メニューをお見せしなく、Twitterアプリで開くとすべての機能を利用できます。

今お見せ

アプリに切り替え